

# 地盤と地下水の現況

# 資料 1

※地盤変動量図・地下水位等高線図は建設局土セン発行「地盤沈下調査報告書」を引用、加筆

## 地盤

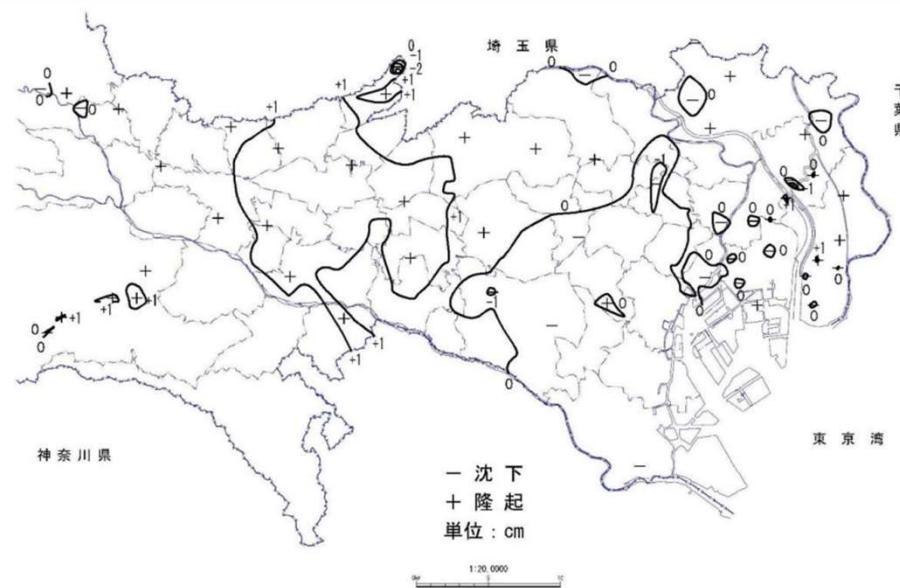
全体として安定した状況。直近5年間の地盤変動量で、2cm以上沈下した地点は清瀬市内の1地点である。

## 地下水位

全体として上昇傾向が継続しており、特に多摩東部で地下水位等高線が東へ移動している。低地の水位上昇量は減少傾向。

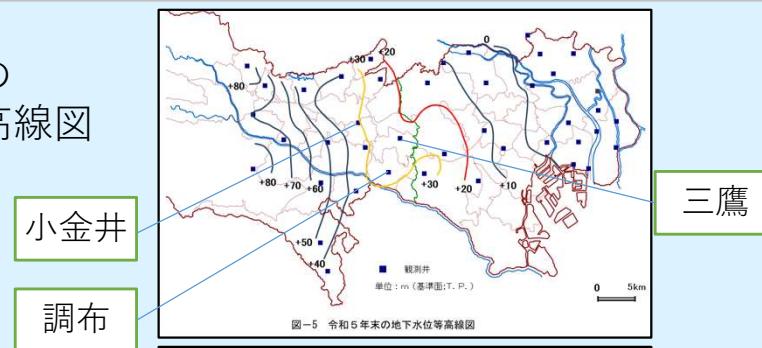
## 揚水量

令和5年の都内揚水量は267千m<sup>3</sup>/日で、直近5年間で101千m<sup>3</sup>/日減少した。うち96千m<sup>3</sup>/日が上水道用揚水の減少。昭和46年揚水量の19%となった。

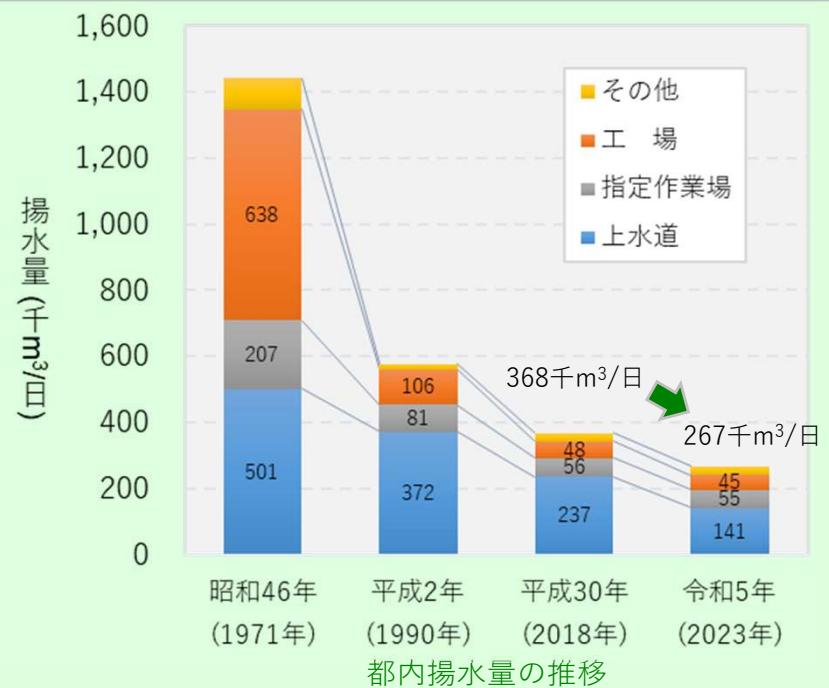


直近5年間の地盤変動量図（平成31年～令和5年）

## 令和5年末の地下水位等高線図



## （比較）平成30年末の地下水位等高線図



# 観測井における地盤と地下水位の地域別現況（1） 低地

## 地下水位

### ➤ 上昇傾向が継続

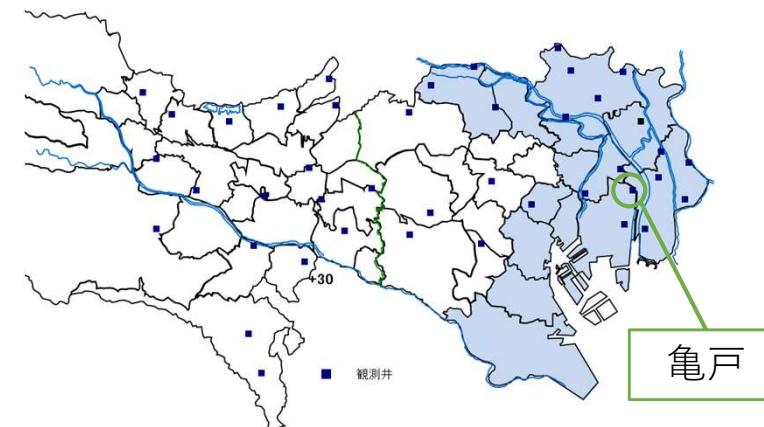
- 直近5年間の変動量（12月平均水位）は全38観測井で上昇： +0.22m～+3.39m  
亀戸第1, 5年間変動量：+1.01m (H30～R4) ⇒ +0.97m (R1～R5)

## 地盤

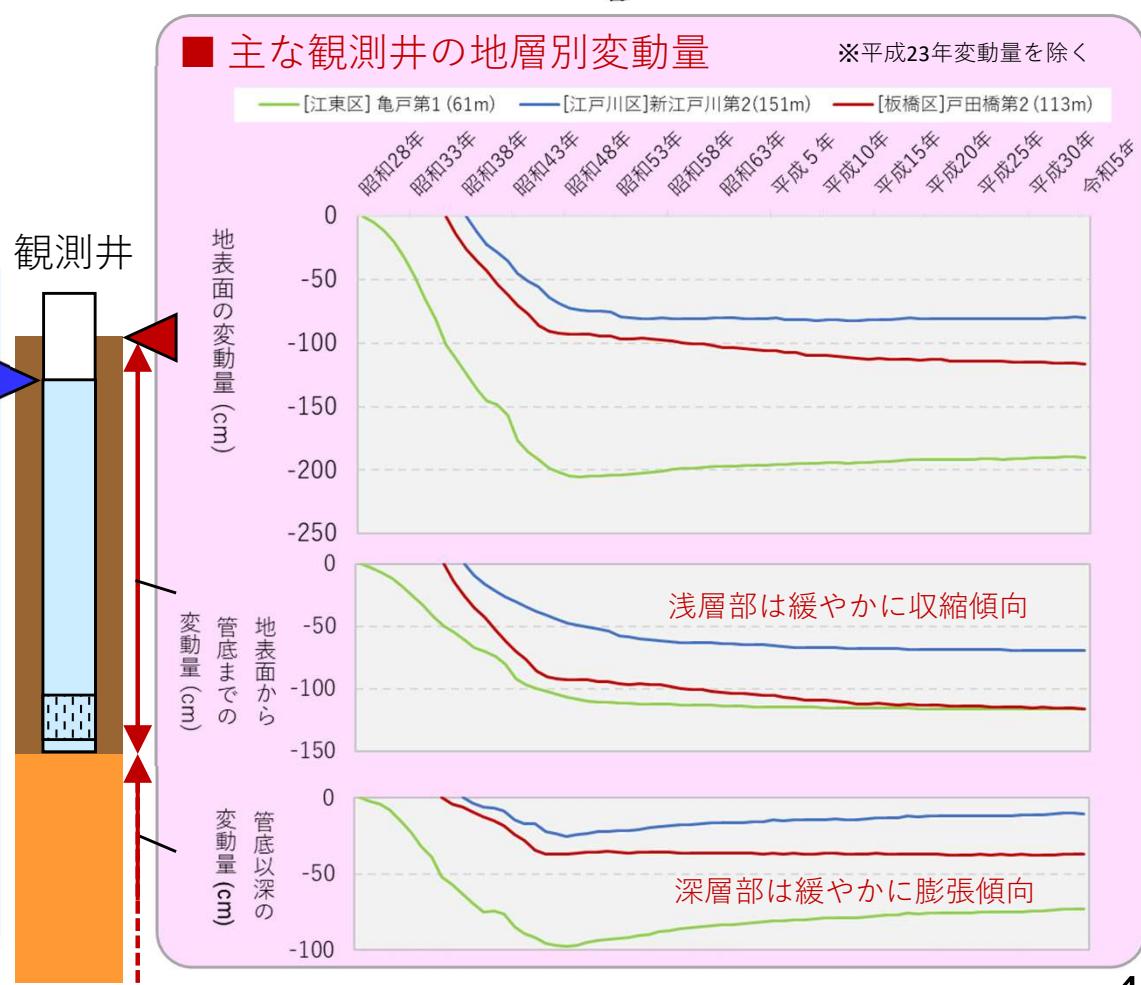
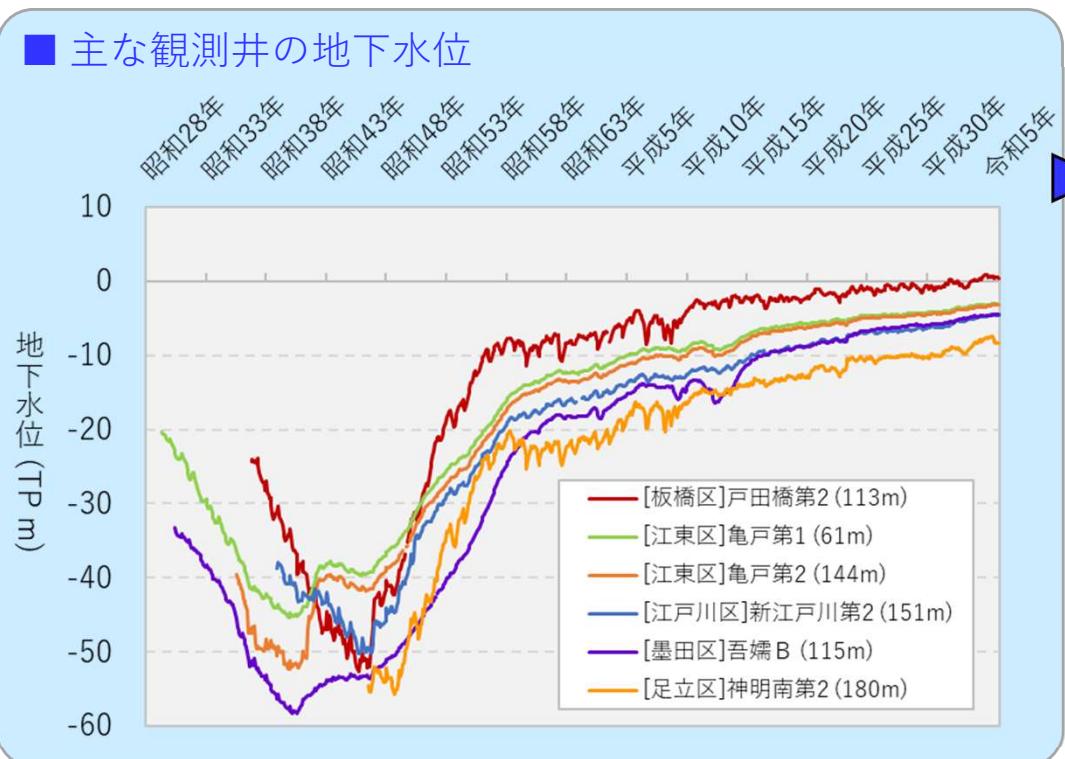
- 直近5年間で2cm以上沈下した地域はなく安定した状況。
- 浅層部（管底以浅）は収縮傾向を示す観測井が多く、深層部（管底以深）は膨張傾向を示す観測井が多い。

### ・直近5年間累積変動量

全 体：収縮7本、膨張33本、-1.14cm～+0.82cm  
浅層部：収縮34本、膨張5本、-1.43cm～+0.57cm  
深層部：収縮2本、膨張37本、-0.12cm～+1.13cm



## ■ 主な観測井の地下水位



# 観測井における地盤と地下水位の地域別現況（2）台地（区部）

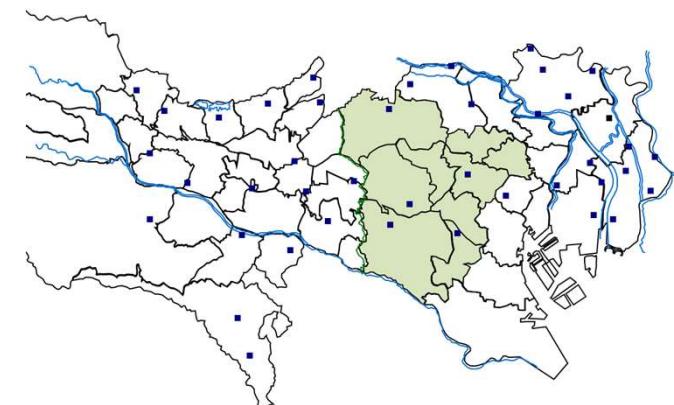
## 地下水位

- 上昇傾向が継続
  - 直近5年間の変動量（12月平均水位）は全6観測井で上昇： $+0.39m \sim +3.00m$   
練馬第二： $+3.00m$

## 地盤

- 直近5年間で2cm以上沈下した地域はなく安定した状況。
- 浅層部（管底以浅）は一部を除きほぼ変動が無く、深層部（管底以深）は膨張傾向を示す観測井が多い。

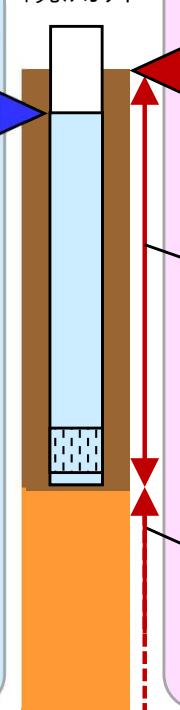
- 直近5年間累積変動量
  - 全 体：収縮4本、膨張2本、 $-0.66cm \sim +0.55cm$
  - 浅層部：収縮5本、膨張0本、 $-0.61cm \sim \pm 0.00cm$
  - 深層部：収縮4本、膨張2本、 $-0.19cm \sim +0.60cm$



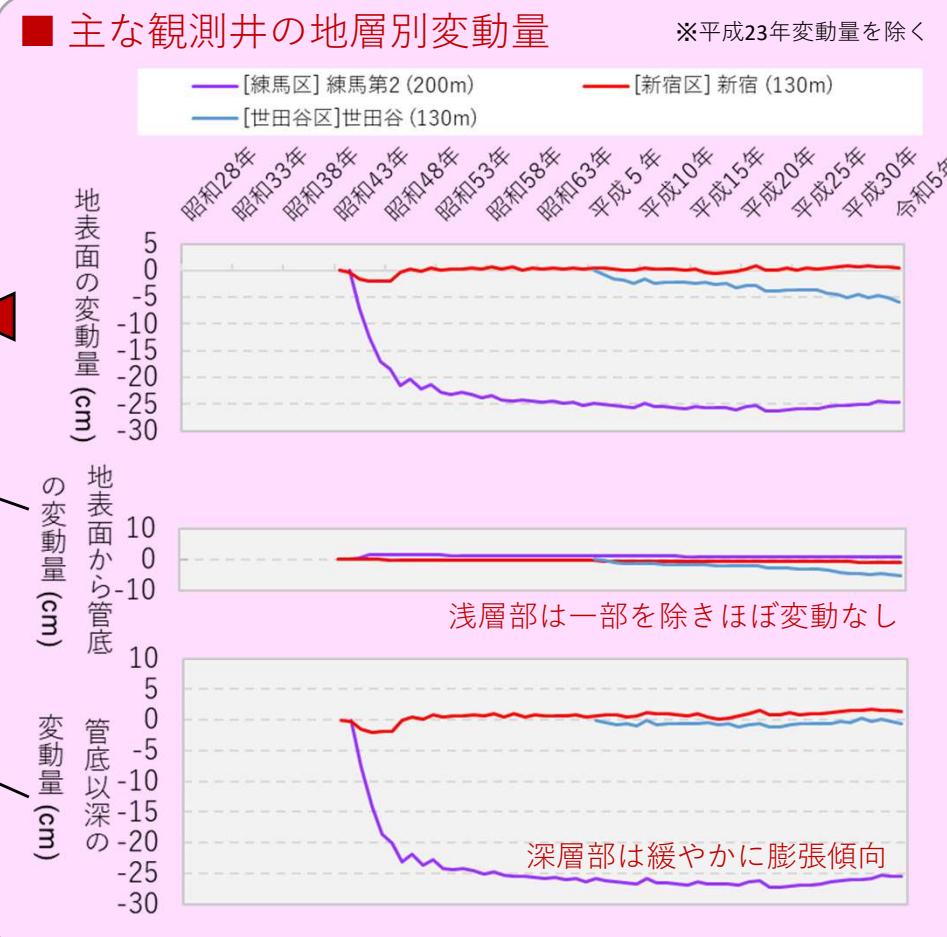
## 主な観測井の地下水位



観測井



## 主な観測井の地層別変動量



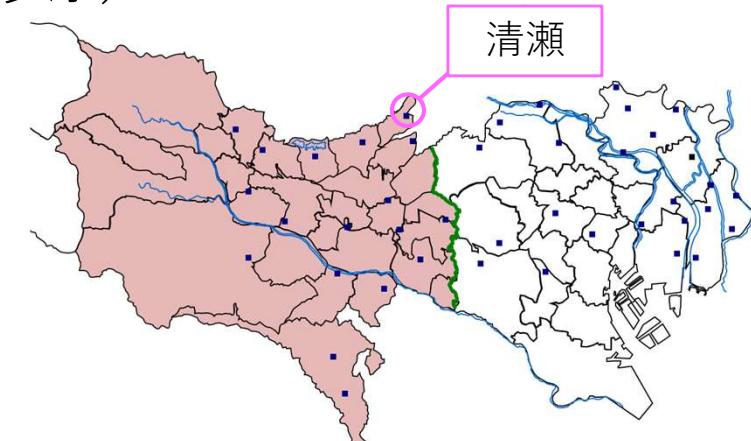
# 観測井における地盤と地下水位の地域別現況（3）台地（多摩）

## 地下水位

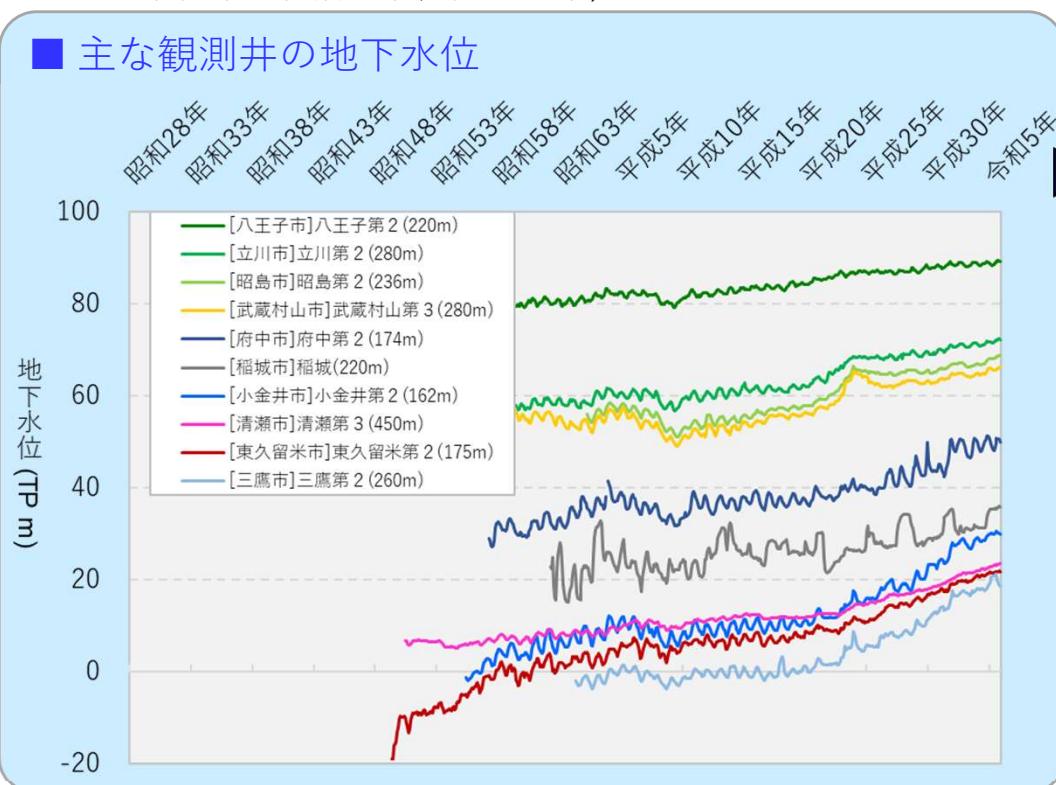
- 上昇傾向が継続。多摩東部の上昇が顕著。
  - 直近5年間の変動量（12月平均水位）は2井を除く40井で上昇： $-0.21m \sim +10.19m$   
府中第3： $+10.19m$

## 地盤

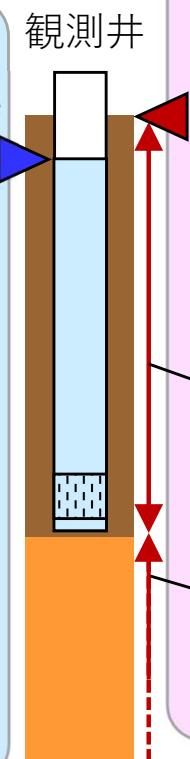
- 直近5年間で2cm以上沈下した地域はなく安定した状況。
- 浅層部（管底以浅）は収縮も膨張傾向も見られ、深層部（管底以深）は膨張傾向を示す観測井が多い。  
長期沈下傾向にあった一部地点の沈下は収束。
  - 直近5年間累積変動量  
全 体：収縮4本、膨張39本、 $-1.26cm \sim +1.62cm$   
浅層部：収縮20本、膨張22本、 $-1.01cm \sim +0.93cm$   
深層部：収縮3本、膨張40本、 $-0.28cm \sim +1.58cm$



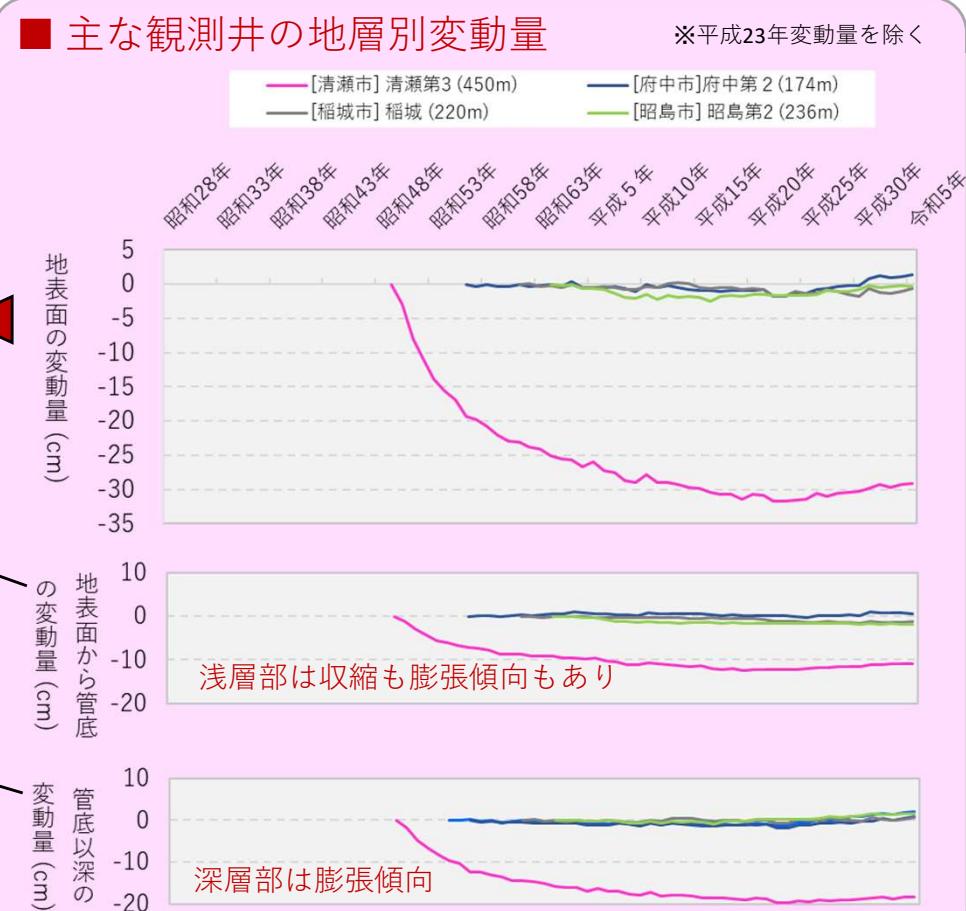
## 主な観測井の地下水位



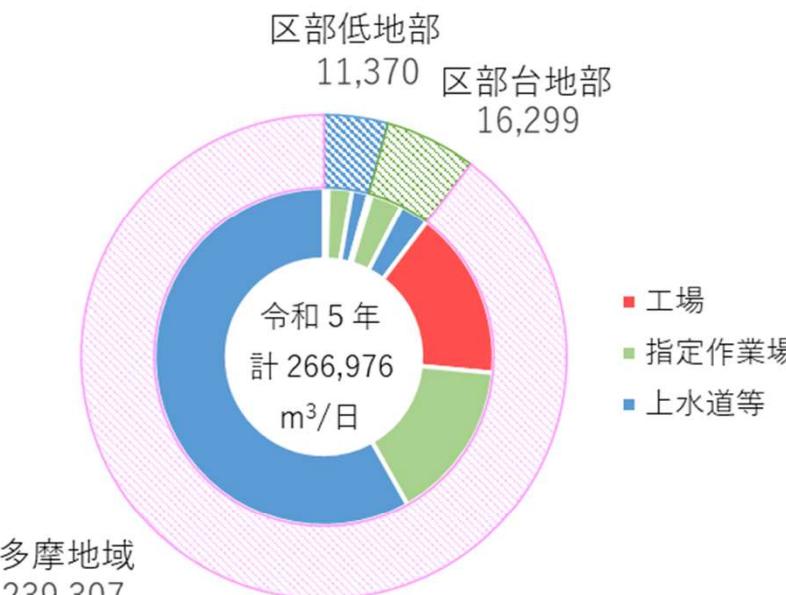
## 観測井



## ■ 主な観測井の地層別変動量



## 都内の地下水揚水の傾向



多摩地域  
239,307

令和5年の地域別揚水量 (m<sup>3</sup>/日)

令和5年揚水の地域別割合 (%)

	事業所数	井戸本数	揚水量
区部低地部	31.6	27.7	4.3
区部台地部	19.4	16.5	6.1
多摩地域	49.0	55.8	89.6

## 令和5年の都内地下水揚水の傾向

- 業態別割合 工場：17% 指定作業場：20% 上水道等：63%
- 用途別割合 飲料：58% 製造工程：11% 環境用水：10% ほか
- 地域別割合
  - 事業所数 区部：51% 多摩地域：49%
  - 揚水量 区部：10% 多摩地域：90%

近年この傾向に変化はない。

直近5年間では、多摩東部で上水道用揚水が大きく減少している。

